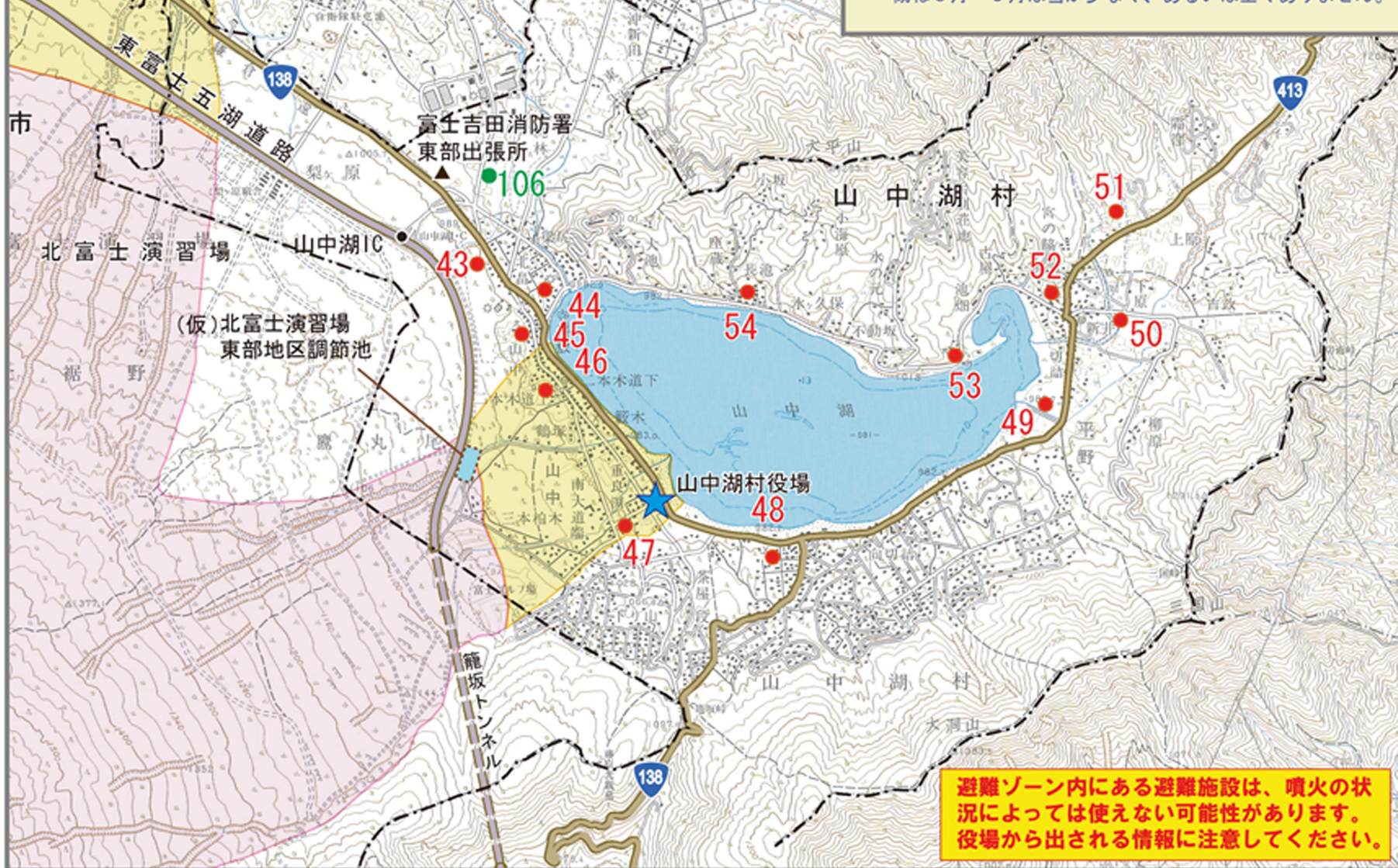


# 山中湖村版 富士山火山防災避難マップ

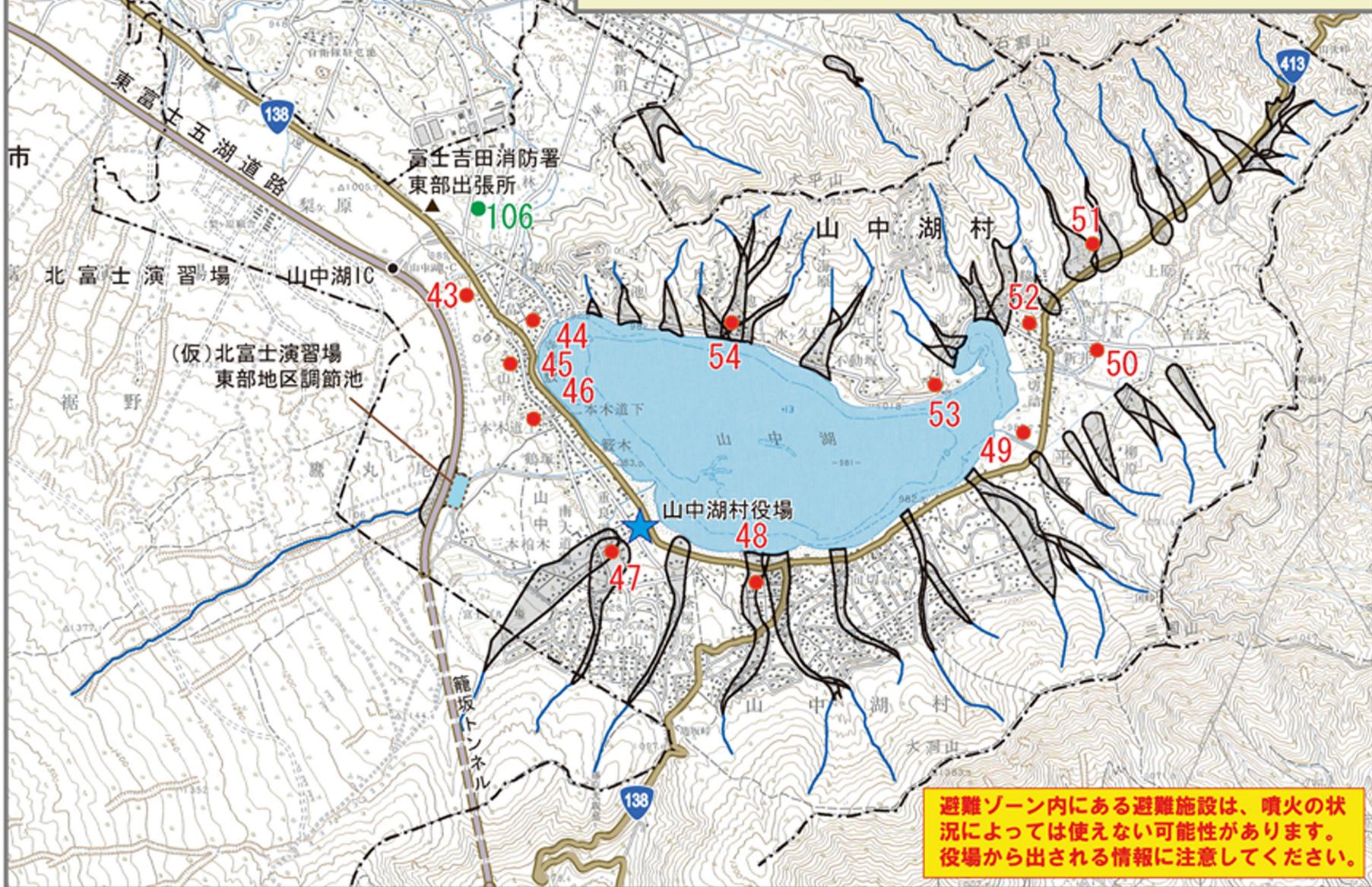
## 富士山に雪がない時期

概ね6月～9月は雪が少なく、あるいは全くありません。



避難ゾーン内にある避難施設は、噴火の状況によっては使えない可能性があります。役場から出される情報に注意してください。

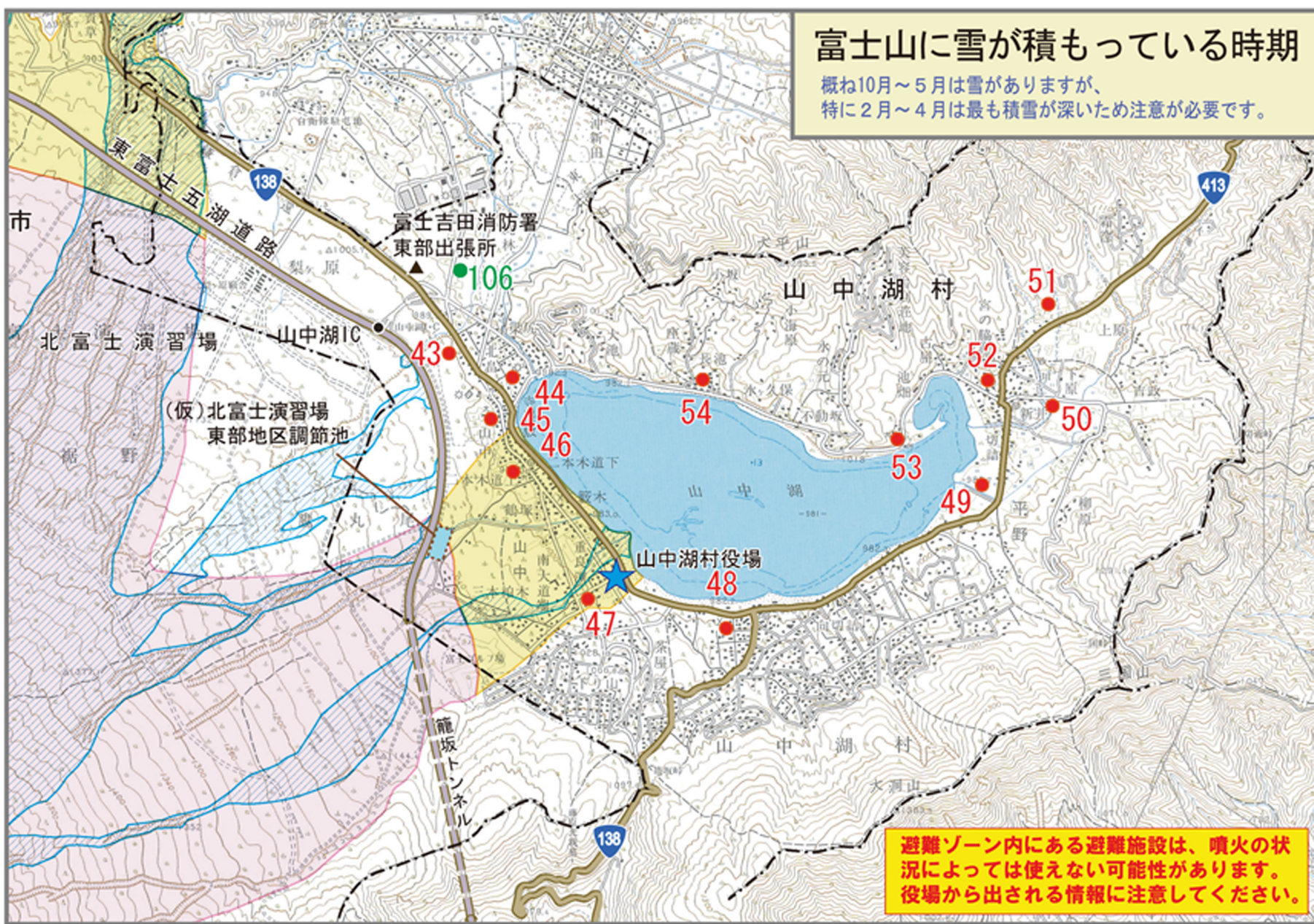
## 降灰中・降灰後に大雨が降ったとき（土石流）



避難ゾーン内にある避難施設は、噴火の状況によっては使えない可能性があります。役場から出される情報に注意してください。

## 富士山に雪が積もっている時期

概ね10月～5月は雪がありますが、特に2月～4月は最も積雪が深いので注意が必要です。



避難ゾーン内にある避難施設は、噴火の状況によっては使えない可能性があります。役場から出される情報に注意してください。

### 図の見方と記号の意味

**泥流避難ゾーン** 富士山に雪が積もっている時期に噴火が始まった時、**すぐに**避難が必要な範囲を示しています。融雪型火山泥流が短時間のうちに到達する可能性のある範囲です。

**2次避難ゾーン** 噴火しそうな時、噴火が始まった時**すぐに**避難が必要な範囲を示しています。噴火した場合に下の3つのどれかに当てはまり、すぐに危険になる範囲です。  
 ① 火口から噴出した石がたくさん落ちてくる範囲（この範囲以外にも、まれに10cm未満の小石などが飛ばされることもあります）  
 ② 火砕流が発生した場合に、高温のガスが高速で届く範囲  
 ③ 溶岩が流れ始めた場合に、すぐ到達するかもしれない範囲（3時間程度を想定）

**3次避難ゾーン** **すぐに**危険にはなりませんが、火口位置によっては避難が必要な範囲です。公的機関から出される避難情報に注意して下さい。また、避難に人の手が必要な方は早めの避難が必要です。溶岩が流れ続けた場合に、1日ぐらいで到達するかもしれない範囲を示しています。

**土石流避難ゾーン** 火山灰が厚く積もっている場合には、大雨警報が出た時に避難する必要がある範囲を示しています。火山灰が厚く（10cm以上）積もっている地域では少しの雨でも土石流が発生しやすくなりますので注意しましょう。

● 43～54 避難施設位置 ● 106 福祉施設位置 番号は一覧表に対応しています

### 大切です！

自らの安全は自ら確保するという災害に備えての心構えが大切です。

### 確認しよう！

このマップは火山活動によって身近に危険がせまる時を想定して作成したものです。皆さんが住んでいる場所や勤めている会社の場所などによって避難の仕方が変わります。ふだんから家族やまわりの人達といざという時のために話し合っておきましょう。

- 家族で確認しましょう
  - 避難場所までの経路を確認しましょう。
  - 常に家族全員で避難できるとは限りません。お互いに職場や学校での避難場所や連絡方法を確認しましょう。
- 噴火しそうな時、噴火が始まった時には
  - 気象庁が発表する火山情報に注意しましょう。
  - デマや噂に惑わされないようにしましょう。
  - テレビやラジオのニュース、新聞、村の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。
  - 避難勧告などの指示があった場合には従いましょう。

### 避難場所と連絡先

No.	避難施設名	電話番号
43	紅富士の湯	20-2700
44	山中保育所	62-0179
45	山中小学校	62-0079
46	山中湖村公民館	62-4386
47	山中湖中学校	62-0103
48	中央公民館	62-1118
49	山中湖交流プラザ	20-3111
50	山中湖村コミュニティセンター	65-7750
51	石割の湯	20-3355
52	平野保育所	65-8542
53	東小学校	65-8152
54	長池コミュニティセンター	62-3448
106	介護老人福祉施設 山中湖あんずの森	63-2333
★	災害対策本部（役場）	62-1111

### 火山灰が積もると・・・

50cm：火山灰の重さによって木造家屋が倒壊するおそれがあります。

30cm：水を含んだ火山灰の重さによって、木造家屋が倒壊するおそれがあります。  
 ■ 降灰の合間を見て灰おろしをしましょう。

10cm：雨（1時間あたり10mm）が降ると川や谷筋で土石流が発生しやすくなります。1時間あたり10mmの雨とは地面から雨がね返って足元がぬれるくらいになったり、地面一面に水たまりができるくらいの雨です。  
 ■ 雨が降ったら、川などに近づかないようにしましょう。

2cm：目・鼻・のどなどの異常を訴える人が多くなります。  
 ■ できるだけ外出は控えましょう。また、マスクやゴーグルなどを着用しましょう。

0.5cm：自動車の運転が困難になるなど、交通機関に影響がでるおそれがあります。  
 ■ 火山灰は雨が降るとスリップしやすくなったり火山灰がまき土がと前が見えにくくなるので運転には注意しましょう。  
 ■ 喘息など気管支の弱い人は、灰を吸い込まないように注意しましょう。

### 防災機関の連絡先

防災機関名	電話番号
山中湖村役場 総務課	62-1111
富士五湖消防本部	22-0119
富士吉田消防署 東部出張所	62-0119
富士吉田警察署	22-0110
山中湖駐在所	62-2431
山梨県 消防防災課	055-223-1432
山梨県 砂防課	055-223-1710
山梨県富士東部建設事務所	0555-24-9087
吉田支所	0555-24-9087
気象庁 甲府地方气象台	055-222-2347
国土交通省 吉田出張所	22-4188

### あなたの避難場所

避難場所	電話番号

防災マップに示された安全範囲内、最も近い避難場所を記入して下さい。